

# 副産物情勢

平成29年2月6日

JA全農ミートフーズ株式会社

内 容		備 考																																																
1.内臓	<p>①国産牛 ○平成28年12月成牛と畜頭数は、95.8千頭(前年比94.1%)となり、21ヶ月連続で前年割れとなった。内訳を見ると、和牛44.4千頭(前年比91.5%)、交雑牛20.9千頭(同103.9%)、乳牛去勢16.1千頭(同96.1%)であった。和牛、乳牛についての出荷頭数減少傾向が継続している実態を反映した数値となった。</p> <p>○平成29年1月の成牛と畜頭数は、速報値(1/31まで集計)で77.2千頭(前年比91.1%)と、大きく減少している。(独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した牛肉の需給予測によると、出荷頭数は、交雑種は酪農家における乳用牛への黒毛交配率の上昇により増加が見込まれるものの、和牛および乳用種は減少が継続すると見込まれる。全体では、1月は、1日当たりの出荷頭数が前年を上回るものの、と畜場稼働日数が前年を下回ると見込まれることから、前年をわずかに下回ると予測している。</p> <p>○需要動向については、全体的によく動いている。赤モノは依然不足気味である。レバーの動きも継続している。シロモノは寒くなってきて小腸・大腸の動きは出てきたが、シマチョウの動きが鈍い状況である。今後、と畜発生数の増加が全品種ともに見込めないことから今後も全体的な需要は継続すると思われる。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">* 豚正貫物</p> <p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>* H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg						
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																																																
平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																																																
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																																																
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																																																
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																																																
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																																																
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg																																																
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																																																
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																																																
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																																																
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																																																
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																																																
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																																																
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg																																																
	<p>②国産豚 ○平成28年12月度全国の肉豚出荷頭数は1,482千頭(農林水産統計1/31公表 前年比99.9%)となった。農水省12月22日発表の12月出荷予測では、1,508千頭(前年比102%)と予測されていたものの、26千頭下回る結果となった。</p> <p>○平成29年1月の全国と畜頭数は、速報値で1,381千頭(1/31まで集計)、前年同比102.4%となっている。稼働日数では昨年と同じ19日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で72,700頭となっている。</p> <p>○農水省によると、今後の出荷予測頭数は平成29年2月1,377千頭(同101%)3月1,464千頭(同101%)となっている。</p> <p>○需要動向についてはカシラ肉に荷余り感はあるが、他のアカモノはだいたい堅調である。レバーは外食向け味付け焼材が好調であるため動きが継続している。シロモノは在庫も満腹感がある状態で、小腸・大腸ともに昨年に比べ動きが鈍い状況である。豚足は市中在庫が重く下落傾向。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 単位:円/枚 *交雑牛含む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																																																
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																																																
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																																																
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																																																
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																																																
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																																																
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																																																
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																																																
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																																																
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																																																
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																																																
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																																																
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																																																
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																																																
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																																																
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																																																
	<p>③輸入牛 ○平成28年12月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で45.1千ト(前年比122.0%)であった。内訳は、チルドが23.1千ト(前年比122.9%、前月比109.1%)、フローズンは22.0千ト(前年比121.1%、前月比97.4%)であった。チルドビーフについては、豪州産が10.5千ト(前年比93.1%)と減少したが、米国産が11.5千ト(同174.0%)と大幅に増加した。(独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した今後のチルドビーフ輸入量予測によると、現地相場安や好調な需要を背景に、特に米国産の増加が見込まれ、1月は大幅に、2月はかなり大きく、いずれも前年を上回り、12月から2月の3ヶ月平均では、前年を大幅に上回る18.0千トと見込んでいる。</p> <p>○平成28年12月の冷凍輸入牛レバーは68.5ト(前年比74.1%・前月比90.1%)であった。国別では、米国産が28.1ト(前年比41.9%)、豪州産は39.6ト(同193.6%)となった。</p>	<p>5.油脂価格/kg(食用向け)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年8月1日</td> <td>88</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月1日</b></td> <td>93</td> <td><b>88</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成26年8月1日	88	93	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	<b>平成28年6月1日</b>	93	<b>88</b>																																	
価格改定年月日	牛脂	豚脂																																																
平成26年8月1日	88	93																																																
平成27年7月1日	91	93																																																
平成27年8月1日	93	93																																																
<b>平成28年6月1日</b>	93	<b>88</b>																																																
2.原皮	<p>①牛原皮 ○平成28年12月の輸出実績は、26,055枚(前年比103.7%、前月比97.3%)で、前年を上回った。輸出平均価格は4,911円/枚(前年比-2,196円、前月比+102円)となった。国別実績は、韓国7,775枚(前年比128.6%)、タイ12,900枚(同107.6%)、香港2,850枚(同47.4%)、台湾実績なし、ベトナム1,950枚(前年なし)。また、インドに550枚の実績あり。一方、ウエットブルーの輸入は、46.0千枚(前年比89.5%、前月比61.7%)、牛大判皮は30.1千枚(前年比70.7%、前月比73.8%)となった。輸出動向は前年・前月ともにプラスに転じ、なかでも韓国・タイ向けの数量が増加した。一見数量的に回復基調にみえるが、海外のタンナーでは在庫が山積しており回復傾向とは言い難い。</p> <p>○輸出向け不振により依然姫路向け一極集中が続いており荷余り状態が深刻化の状況をふまえてか、1/23より原皮価格が500円引き下げられた。</p>																																																	
	<p>②豚原皮 ○平成28年12月の輸出合計は、1,303,880枚(前年比100.9%、前月比125.2%)と、前年・前月とも上回った。輸出価格は840円/枚で前月比+62円、前年比+157円であった。国別実績は、台湾271千枚(前年比64.2%)、タイ906千枚(同131.7%)、韓国67千枚(同128.3%)、香港21千枚(同42.3%)、ベトナム32千枚(同38.9%)、フィリピン7千枚(前年なし)であった。</p> <p>○輸出動向については、現時点でも輸出量は上向きである。今後もヌバック需要等により現時点でも需要が見込める状況が継続している。円安傾向も輸出を後押ししているが、中国の落ち込みがマイナス要素である。輸出好調のためか1/23より原皮価格が30円引き上げられた。</p>																																																	
3.レンジリング	<p>①油脂等 ○12月渡しの国内産食用加工油脂向け価格は、豚脂が前月同じだが、前年に比べ5円マイナスの88円(前年比94.6%)、牛脂は前月・前年とも同じの93円(同100.0%)。</p> <p>○11月マレーシア産パーム油相場は、事前予想に反して生産が減少し在庫も少なく、需給が逼迫しているため上げて106円となった。(前月比112.8%、前年比117.8%)。今後は季節的な減産期入りで、目先の供給はタイトなまま推移する予測。</p> <p>○12月の関東飼料用油脂は前月と同様の70円/kgと前年比13円安で、工業用油脂も同様に47円/kgの前年比13円安。</p> <p>○12月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の61円~64円/kg辺り。前年比13円安。</p>																																																	